

政務活動先進事例調査報告書

報告者：宍志の会 今井和夫

下記のとおり、先例事例調査を行いましたので、宍粟市議会政務活動費の使途に関する要領第6（7）の規定により報告します。

記

1. 研修年月日 令和4年7月23日～24日
2. 研修先 川崎市川崎区駅前本町11-2
3. 出席委員 宍志の会 今井和夫
4. 事務局 なし
5. 研修会名 第18回 全国地方議員交流研修会
6. 講師等の氏名 羽場久美子・青山学院大学名誉教授
山内末子・沖縄県議会議員
7. 研修目的
 - ・戦争に反対し住民の命と暮らしを守る道を探る。
 - ・持続可能な地域を考える上で、どうすれば日本農業を守ることができるかを探る。
 - ・全国の地方議員との交流・意見交換。先進地域の調査研究

8. 研修目的内容

●講演

羽場久美子教授

- ①ウクライナ戦争の即時停戦、②東アジアで戦争を起こさない、③日本の軍事費の増大を阻止して医療や福祉、貧困者への支援することなどを提起。世界の大きな歴史的な変化、米欧の衰退と中国・アジア・アフリカの前進などに触れ、中国・韓国・日本・沖縄・台湾・ロシアを結ぶ恒常的な対話組織の形成につなげることを呼びかけて、政府がやらない以上、全国の地方自治体が平和のハブとして役割を果たすよう地方議員が奮闘してほしいと激励した。

山内末子・沖縄県議会議員

日本全体の中で米軍基地もない、そして自衛隊基地もない所、戦争ということについての重さの違いかあまりにもあり過ぎるのではないのでしょうか。多分本土の皆さんたちは自分たちが戦場になるという意識がないのではないのでしょうか。だからこそ軍備が大きくなっても仕方がないですまされているのではないのでしょうか。地方の議員の皆様方は、沖縄の声にもっと耳を傾けていただきたい。そして沖縄の思いに心を寄せていただきたい。

●分科会「日本農業と食料を守るために」

・鈴木宣弘・東京大学大学院教授の問題提起

日本の農業、食料は本当に危機的な状況だ。よく危機を煽るなどと言われるけど、本当にモノがなくなってからでは遅い。60歳を過ぎた方は命をかけてこの国難、農業・食料を守るために立ち上がってほしい。

・事例報告

・福島県喜多方市の全小学校での農業科実践・・斎藤仁一・喜多方市議

全小学校で小学校3年生から6年生まで、総合の70時間のうちの35時間を農業科として実践している。

9. 考 察

ウクライナでの戦争が始まって一年以上経過。また、「台湾有事」等盛んに言われるようになり、アメリカの要求の元、日本の軍事費が今後5年間で約倍増、43兆円にふくらもうとしている。

特に台湾、尖閣等をめぐる状況の中で、何よりも欠落しているのが「話し合い」だ。軍備・戦争は、外交が破綻したときの最後の手段。しかし、そのような外交・話し合いが行われているようには全く見えない。そして、戦場になる可能性が甚だ大きい沖縄の人びとにとっては、軍備を備えるということは、自分たちのところが戦場になるということに他ならない。そのような危惧・恐怖とともに沖縄の人びとは日々暮らしているという認識は、私たちにはほとんどないのではないだろうか。

戦争は一度始まってしまえば、破壊し尽くされるまで終わりが無い。そして、それは決して他人事ではなく、私たちの暮らしにも大きく影響を及ぼすものとなるだろう。

この穴粟市を守る、私たちの暮らしを安心した持続可能なものにするためには、農業の安定は欠くことのできない要素であり、そのためには国の支援は不可欠なものである。

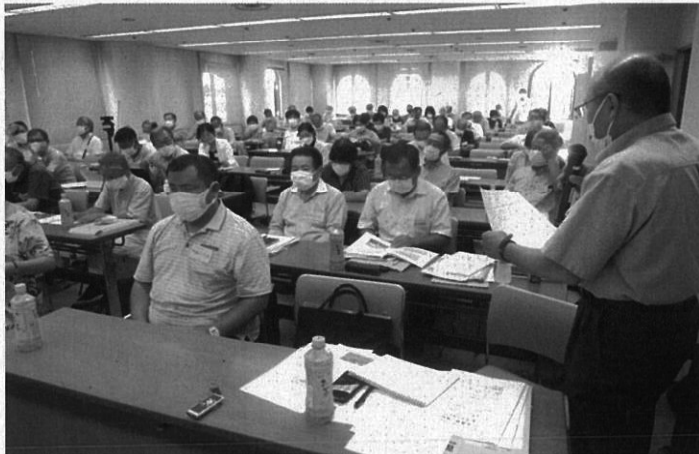
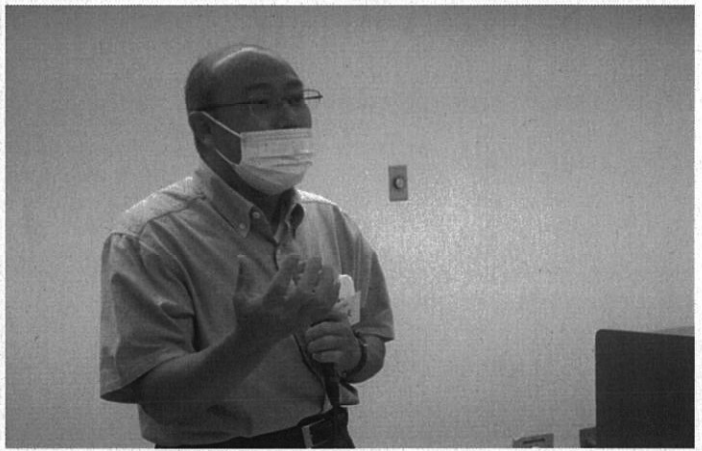
そのような農業政策はもちろん、私たちの暮らし全般、教育・福祉・産業。そのようなところを蔑ろにして、アメリカの要求のまま、アメリカの中古品とも言える軍備を買うことが本当に我々の国を守ること、国防なのだろうか。

本当に私たちの暮らしを守る為の行動を私たちは起こして行かなければならないのではないだろうか、と強く考える。

第18回 全国地方議員交流研修会

令和4年7月23～24日

KKCIホール・サンピアンかわさき



第18回全国地方議員交流研修会 プログラム

第1日 7月23日(土) KCCI ホール

第2日 7月24日(土) サンピアンかわさき



主催 第18回全国地方議員交流研修会 実行委員会

筆頭代表 中村 進一 (三重県議会議員)

代表 北口 雄幸 (北海道議会議員)

代表 藤本真利子 (和歌山県議会議員)

代表 山内 末子 (沖縄県議会議員)

事務局・連絡先

〒212-0011

神奈川県川崎市幸区幸町4-8 青柳ビル2F

広範な国民連合 担当 迫田富雄

電話 090-8588-8307

Eメール giin@kokuminrengo.net

<全体会> 13:30～17:45

総司会 藤本 眞利子 和歌山県議会議員

開会あいさつ

実行委員会筆頭代表 中村 進一 三重県議会議員

来賓あいさつ・メッセージの紹介

記念講演 (14:15～15:15)

ウクライナ戦争と東アジアの平和
～沖縄・地方自治体を平和のハブに～

羽場 久美子 先生 青山学院大学名誉教授

休憩 (15:15～15:30)

沖縄からの報告 「沖縄を見捨てるな」 (15:30～15:45)

山内 末子 沖縄県議会議員

実行委員会からの問題提起

山本 正治 広範な国民連合事務局長

米軍・自衛隊基地を抱える自治体議員のリレートーク

青山 秀雄 昭島市議 (横田基地) / 大波 修二 大和市議 (厚木基地) / 永井 友昭 京丹後市議
(米軍Xバンドレーダー基地) / 姫野 敦子 岩国市議 (岩国基地) / 江口 善紀 佐賀県議 (佐賀空
港オスプレイ配備) / 中川 義行 宮崎市議 (新田原基地) / 上山 貞茂 鹿児島県議 (馬毛島)

討論とまとめ (17:15～17:40)

(事務連絡・休憩) (17:40～18:00)

<名刺交換会> 18:00～19:00

司会 日下 景子 神奈川県議会議員

各ブロックごとの地方議員の紹介 他

＜分科会＞

| 第1分科会 (4階・第3会議室) 9:30～12:00

日本農業と食料を守るために

座長 今井 和夫 宍粟市議 / 副座長 西 聖一 熊本県議

問題提起 (9:35～10:15)

農業振興こそ安全保障の要

— 生産を結ぶ架け橋の強化と抜本的農業予算再編に向けて

鈴木 宣弘先生 東京大学大学院教授

事例報告 (10:15～10:40)

1. 喜多方市の学校給食と食育 (全小学校での農業科) の取り組み

齋藤 仁一 喜多方市議

2. 福岡の農業食料問題の取り組み

上村 和男 筑紫野市議

3. 北海道農業の現状と課題

松本 将門 北海道議

討論 (10:50～12:00)

| 第2分科会 (4階・特別会議室) 9:30～11:45

座長 松尾 ゆり 杉並区議

コロナ禍での医療、保健等の総括
社会保障体制を再構築するために

問題提起 (9:35～10:15)

伊藤 周平先生 鹿児島大学教授

事例報告 (10:15～10:45)

1. コロナ禍で対政府交渉

山田 厚 甲府市議

2. 医療・介護の現場からの報告

河内 ひとみ 荒川区議

3. 和歌山県の医療保健体制

藤本 眞利子 和歌山県議

討論 (10:55～11:45)

(休憩・昼食) 12:00～13:00

＜全体会＞ (4階・第3会議室) 13:00～14:30

生活困難をかかえる地域住民のために

問題提起 (13:05～13:45)

瀬戸 大作さん 反貧困ネットワーク事務局長

事例報告 (13:45～14:05)

1. 貧困者の実態と何が求められているか

小椋 修平 足立区議

2. 板橋区における生活保護・先進事例

五十嵐 やす子 板橋区議

討論 (14:05～14:30)

(休憩) 14:30～14:40

＜全体討論＞ (4階・第3会議室) 14:40～16:00

各分科会の報告

アピールの提案、討論、採択

まとめ 閉会あいさつ

実行委員会代表 北口 雄幸 北海道議



羽場 久美子先生

神奈川大学教授
青山学院大学名誉教授・国際政治

世界国際関係学会アジア太平洋地域会長、
アジア共同体評議会副会長。元女性科学研究者の環境改善に関する懇談会会長。

鈴木 宣弘先生

東京大学大学院教授

「食の戦争 米国の罠に落ちる日本」「食料・
農業の深層と針路 グローバル化の脅威・
教訓から」「農業消滅」(22年7月、平凡
社新書) 他著作多数。近著「共同組合と農
業経済・共生システムの経済理論」(22年
1月 東京大学出版会刊)



伊藤 周平先生

鹿児島大学教授

「社会保障改革のゆくえを読む」「改定介護
保険法と自治体の役割」など著作多数。近
著 22年1月「コロナ禍からみる日本の社
会保障 危機対応と政策課題」(自治体研究
社刊)

瀬戸 大作さん

一般社団法人反貧困ネットワーク事務局長

「新型コロナ災害緊急アクション活動日
誌」「コロナがあばく社会保障と生活の実
態」など救援活動の実践レポートと問題提
起。22年2月衆議院予算委員会で参考人
として招聘され発言。

